

ろう重複障害者・ろうあ高齢者を支援する
みんな来チャリティ公演23

ろう両親をもつ手話通訳士！！

田中 清氏

記念講演

「手話と私」

～ろうあ者の両親のもとで
育てられて～

プロフィール

○ろう両親のもと、4女として生まれる。

○厚生労働省手話通訳士

○NHK「手話ニュース」元手話キャスター

○西東社出版「絵と写真で見る手話」

「手話用語辞典」などの監修

○ドラマ「遙かなる甲子園」

「愛していると言ってくれ」

などの手話指導などなど、多方面で活躍



内容

記念講演「手話と私」 講師:田中 清氏

吹田ろうあ太鼓「和龍耳」の和太鼓、なかまの里劇団「さくら」手話劇、お楽しみ福引大会など

参加 協力券

大人 2,000円 (当日2,500円)、小人 (小学生まで)・なかま・盲ろう者 1,000円 (当日1,500円)

※前売券が完売した場合、当日券はありません。 ※収益は、ろう重複障害者・ろうあ高齢者福祉の支援に役に立てられます。

2019. 11. 4

月

時間

13:00～16:00

【12:15 受付開始】

祝

場所

鶴見区民センター 大ホール

大阪市鶴見区横堤5-3-15

(鶴見区役所西隣 地図裏面へ)

主催／社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会・後援会

手話で築く豊かなくらし

大阪には、聴覚障害者のコミュニケーション(手話や身振りなど)を大切にした専門施設や相談機関がまだまだ不足しています。聴覚障害者の暮らしを支援し、聴覚障害者福祉の向上のためには、たくさんの賛同者が必要です。ぜひ後援会の活動にご協力ください。

「聞こえない」障害のほか、知的、視覚、精神、肢体などの障害のある「ろう重複障害者」が大阪府内には推定約600名以上おられます。「なかまの里」「あいらぶ工房」「北摂聴覚障害者センターほくほく」「ほくほく障害者作業所(堺市)」ができた今でも、手話や身振りで気持ちを伝えられない一般の知的障害者施設に入・通所したり、社会的な支援を利用できず在宅となって生活されているのが現状です。ろう重複障害者の暮らしを支える社会資源(施設や福祉サービス)はまだまだ足りません。

介護保険制度を利用しても、ろうあ高齢者のニーズに対応できる老人ホーム、在宅介護サービスは、「あすくの里」や「大阪ろうあ会館」の他にはほとんどありません。食事や入浴の介護が受けられても、コミュニケーションがとれないと、集団の中で孤立し、一人寂しい思いがますます大きくなってしまいます。中には体調を壊して利用を止めてしまう人、生きる意欲をなくす人もいます。

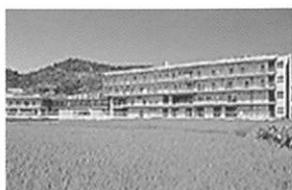
☆皆様からのご協力ありがとうございました。☆

2020年4月、泉州聴覚障害者センター(仮)オープン!!国の内示がありました。
ご支援・ご協力をお願いします。

<こんな施設を支援しています>



なかまの里
(1994年開所)



あすくの里
(2005年開所)



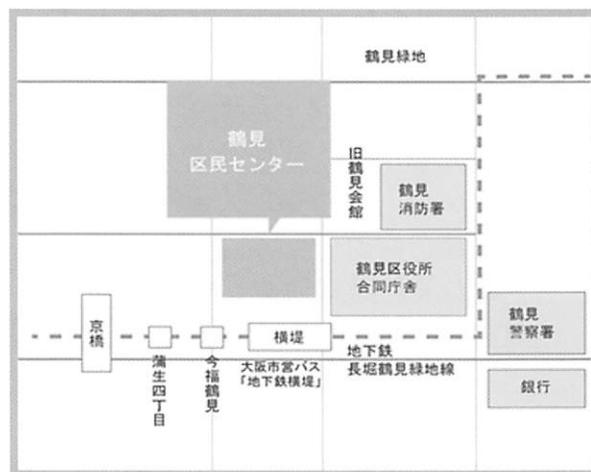
あいらぶ工房
(2007年開所)



北摂聴覚障害者センター
ほくほく
(2015年開所)



会場までの地図



鶴見区民センター

〒538-0052 大阪市鶴見区横堤5-3-15(鶴見区役所西隣)
電話 06-6912-3971 FAX 06-6912-3900
大阪メトロ 長堀鶴見緑地線 横堤駅 4番出口
大阪シティバス「地下鉄横堤」北へ1分

お問い合わせ先・参加協力券申込先

社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会・後援会事務局

〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥1-1

TEL: 072-959-2324 FAX: 072-959-2632

Email: kouenkai@daichofuku.or.jp